

平成 21 年 10 月の地震活動及び火山活動について

○ [地震活動]

10月30日に奄美大島北東沖でM6.8の地震が発生し、この地震により鹿児島県の奄美市、喜界町、^{あまみし きかいちょう}としまむら十島村で震度4を観測し、鹿児島県では0.1m程度の津波を観測しました。国土地理院のGPS観測結果では、この地震に伴う小さな地殻変動が観測されています。

全国で震度1以上を観測した地震の回数は106回、日本及びその周辺におけるM4.0以上の地震の回数は73回でした。

震度3以上を観測するなどの主な地震活動の概況は別紙1のとおりです。また、世界の主な地震は別紙2のとおりです。

○ [火山活動]

桜島の昭和火口では、爆発的噴火を含む噴火が時々発生しました。また、南岳山頂火口では10月3日に爆発的噴火が発生し、噴煙が火口縁上3,000mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石が4合目まで達しました。

引き続き、昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。桜島では、火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続しています。

口永良部島では、9月30日以降火山性地震が少ない状態で経過したことや、GPSによる地殻変動観測で新岳火口浅部の膨張を示す変化が認められないことなどから、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断して、10月30日に噴火予報を発表し噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げ、噴火警戒を解除しました。

浅間山では、火山性地震がやや多い状態で推移しています。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

三宅島では、多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

諏訪之瀬島では、小規模な噴火が時々発生しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

日本の主な火山活動の概況は別紙3のとおりです。また、世界の主な火山活動は別紙4のとおりです。

○ [その他]

10月27日10時より秋田駒ヶ岳に噴火警戒レベルを導入しました。

注1：噴火警戒レベルには、レベル毎に防災機関等の行動がキーワードとして示されており、導入にあたっては、噴火警戒レベルの活用が地域防災計画等に定められることが条件となります。

注2：国土地理院のGPSによる地殻変動観測については、国土地理院ホームページの記者発表資料「平成21年11月の地殻変動について」を参照願います。

<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2009-goudou1109.html>

注3：気象庁の地震活動資料には、気象庁、防災科学技術研究所及び大学等関係機関のデータが使われています。

注4：地震活動及び火山活動の詳細については、地震・火山月報(防災編)平成21年10月号(平成21年11月末頃に刊行及び気象庁ホームページ掲載予定)をご覧ください。

注5：平成21年11月の地震活動及び火山活動については、平成21年12月8日に発表の予定です。